裁判員制度の施行準備から現在に至るまで

岡山地方裁判所：鬼澤友直

１　裁判員制度実現までの準備

平成１１年司法制度改革審議会
　　司法制度の在り方を抜本的に検討する会議

平成１３年６月　意見書提出

1　裁判員制度実現までの準備

○　刑事司法制度の改革＋国民的基盤の確立

裁判員制度の創設を提言

1　裁判員制度実現までの準備

平成１３年１１月　司法制度改革推進本部を内閣に設置

裁判官と裁判員の人数比の問題に議論の大半が費やされ、裁判の在りように関する十分な検討が尽くされていない。

平成１６年５月２８日　裁判員法成立

1　裁判員制度実現までの準備

裁判員裁判の在り方を実証的に検討

模擬裁判を繰り返し実施

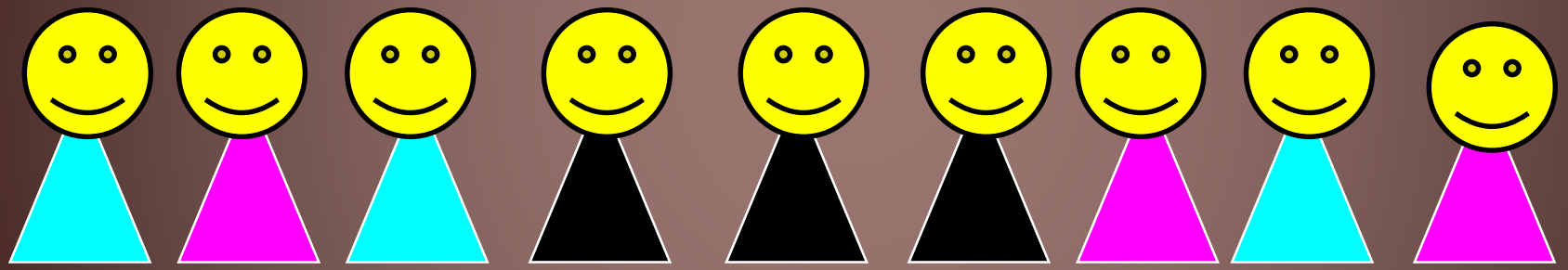
1　裁判員制度実現までの準備

H17．8．3第1回法曹三者模擬裁判

1　裁判員制度実現までの準備

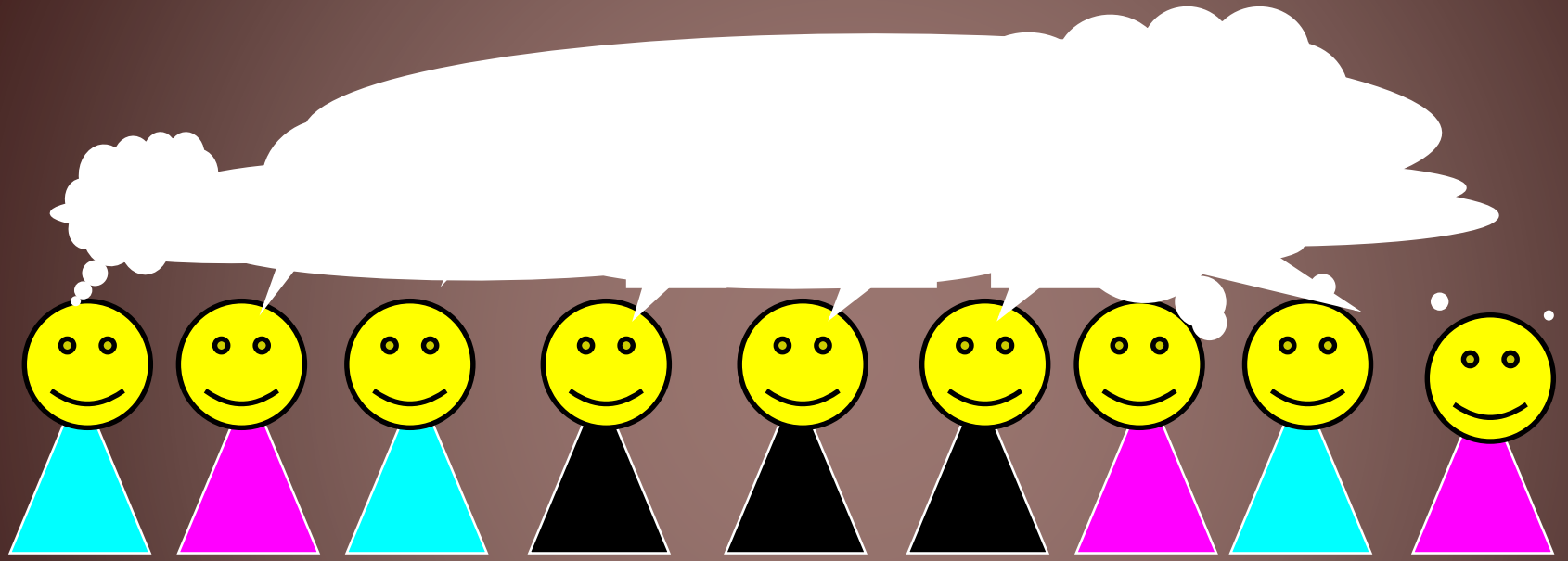
そして，見えてきたものは・・・・・

1　裁判員制度実現までの準備



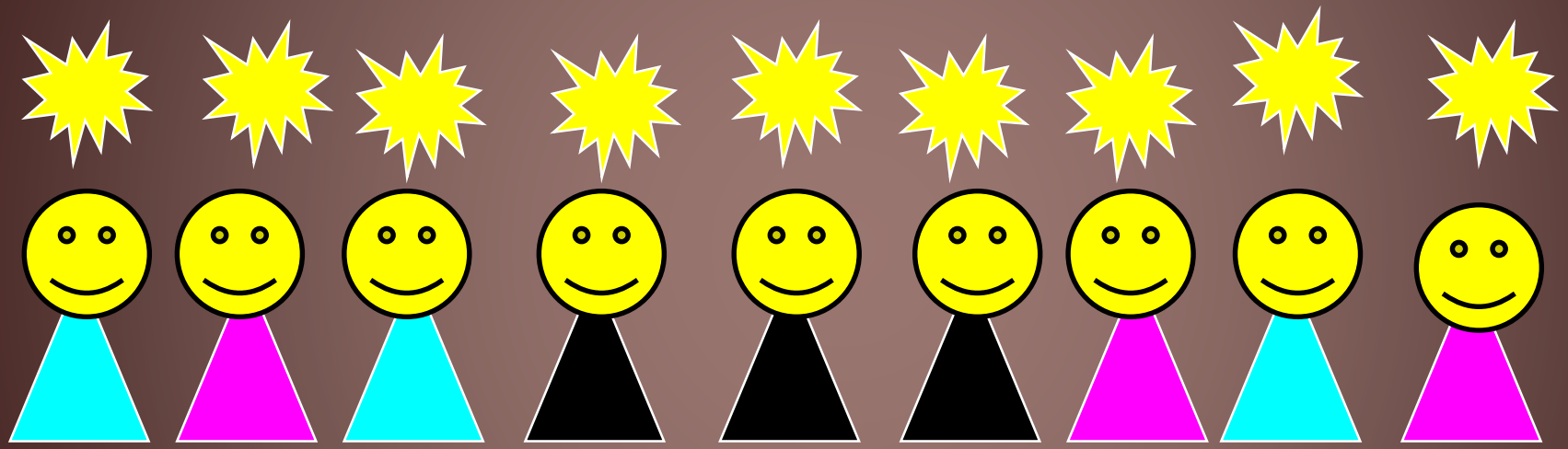
単に裁判員を加えるだけではダメ！

1　裁判員制度実現までの準備



裁判員と裁判官による裁判体へ

1　裁判員制度実現までの準備



目で見て耳で聞いて分かる審理へ

1　裁判員制度実現までの準備

良い評議

裁判員が法廷で見た証拠に基づき意見を持つこと

充実した公判審理

11

1　裁判員制度実現までの準備

裁判員と裁判官が対等の立場で評議する

裁判官のみが記録を読んで裁判員に
説明・説得するようなことはしない。

裁判員が法廷で見た証拠に基づき意見を持つ

裁判員を説得する当事者の役割が重要
（当事者主義の徹底）

2　裁判員制度の開始

平成21年5月21日裁判員法施行

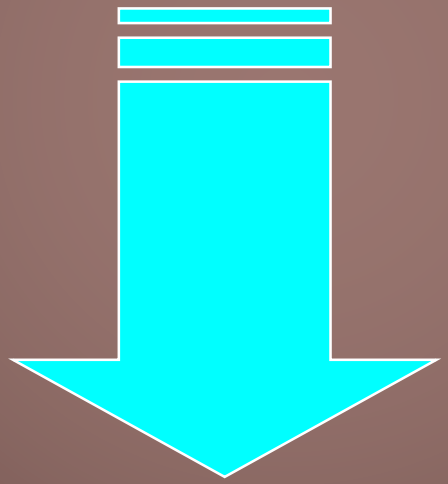
記念式典の様子

2　裁判員制度の開始

H21．8．3　裁判員裁判第1号事件@東京

2　裁判員制度の開始

H21．8．10　裁判員裁判第2号事件@さいたま



H21．10．6　岡山地方裁判所第1号事件

２　裁判員制度の開始

H21．10．９　岡山地裁第1号事件判決

被告人（４０歳）が，別れ話のもつれから当時２０歳の会社員女性の左胸をナイフで刺したとして殺人未遂などに問われた事件

審理期間４日

懲役６年６月の判決（検察官の求刑懲役８年）

2　裁判員制度の開始

（H21．10．7　山陽新聞一面）

アノテーション一正常終了！

共通

2009年(平成21年)10月7日　水曜日

岡山初の裁判員裁判

選任6人 殺人未遂審理

4日連続公判　9日に地裁判決

山陽新聞

山陽新聞社

4周年感謝祭

8:00~12:00

詳しくは明日の朝刊を

TEL086-236-1125

8月中間、イ

北朝鮮が「多

ボクシング岡

偽装献金 税

68年の次官

米大使会談

2　裁判員制度の開始

（H21．10．7　山陽新聞社会面）

山陽新聞

視覚に訴え主張展開

岡山初の裁判員裁判

検察官 弁護人 モニターを駆使

岡山地裁で6日始まった岡山県内初の裁判員裁判。法廷に並んだ裁判員らに検察、弁護側がゆっくりとした口調で、身ぶり手ぶりを交え語りかける。従来の刑事裁判のイメージを一新した法廷が始まった。一方、裁判の進行下検査で選ばれた候補者たちは「ほっとした」「立ち会いたかった」とさまざまな思いを交錯させた。（1面関連）

リモコンを手に、大小のモニターに法廷の要点などを次々映し出す弁護人（左）。裁判員の視覚に訴えた（イラスト・山崎貴介）

岡山県内初の裁判員裁判の日程

初日	
9:30	裁判員の選任手続き
14:00	開廷、冒頭手続き（起訴状朗読、罪状認否）
14:10	冒頭陳述（検察、弁護側）
15:45	証拠書類などの取り調べ
17:20	閉廷
2日目	
9:55	開廷、被害者への証人尋問
13:10	証拠書類の取り調べ
13:25	被告人質問（弁護側について）
16:25	証拠書類の取り調べ
3日目	
9:55	開廷、証拠書類の取り調べ
10:20	被害者を証言した医師への証人尋問
11:30	被告の父親への証人尋問
13:10	証拠書類の取り調べ
13:20	被告人質問（検察について）
14:55	検察側の論告求刑、弁護側の最終弁論、被告の最終意見陳述、結審
	評議
4日目	
午前	評議
午後	判決言い渡しの見込み

反対派が抗議行動　地裁前

裁判員制度に対するグループのメンバー＝岡山地裁前

「寄付者」の税控除申請

審査前に

2　裁判員制度の開始

（H21．10．9　山陽新聞社会面）

検察明快 弁護側熱く

裁判員に最後のアピール

岡山地裁で結審

岡山県内初の裁判員裁判の日程

弁護側"求刑ミス"

チャプリン映画二著作権

2　裁判員制度の開始

（H21．10．10　山陽新聞一面）

裁判員裁判

被告に懲役6年6月

岡山地裁初判決 補充含む全員会見

岡山県内初の裁判員裁判の判決公判が9日、岡山地裁であり、刑事裁判に参加した男女6人と補充裁判員2人が記者会見した。（32～35面に関連記事）

岡山地裁は、強盗致傷などの罪に問われた無職男（32）＝岡山市＝に懲役6年6月（求刑懲役8年）を言い渡した。判決後、裁判員6人と補充裁判員2人が会見した。

裁判官3人と裁判員6人の合議で裁判員裁判は進められた。

高山裁判長は「思い通りにならないもどかしさから女性に暴行を加えた」と動機を説明したとして、殺人未遂罪などに問われた被告＝岡山市＝を懲役7年（求刑懲役8年）とした一審・岡山地裁判決を破棄。無職男の控訴を棄却した二審・広島高裁岡山支部判決（平成21年3月）について、「裁判員6人全員で審理し、全員で導き出した結論」と指摘した。

裁判員裁判は、検察官と弁護人双方の主張を聞いた上で、有罪か無罪か、有罪の場合はどの程度の刑にするかを決める。

裁判員6人は、「検察官と弁護人の主張が分かりやすかった」「裁判官も細かく教えてくれた」と述べ、「素人」なりに責任を果たそうとした様子がうかがえた。

一方で「私たちが決めていいのかという思いはあった」「刑の一生の重みを考えさせられた」と、人を裁く心労をにじませた。

補充裁判員2人は、「検察官が被害の更生についても触れ、被告の内省は深まりに欠ける」「裁判員6人全員で審理したことを尊重した」などと述べ、「裁判員裁判は市民感覚が生かされていることを示した」と評価した。

解説

守秘義務 一層議論を

岡山地裁で裁判員の質問が集中した部分について詳細な審理由を示し、初めて司法解剖した医師の証言を重視したことなどを明らかにした。

裁判員の存在感を印象付けた。一方、非公開の評議がどのように進み、市民感覚が具体的にどう反映されたかは、今後も検証が必要だ。

2　裁判員制度の開始

（H21．10．10　山陽新聞社会面）

裁判員裁判 岡山で初判決

「被告の更生願う」

9人記者会見 安堵と充実感

岡山県内初の裁判員裁判を終え、記者会見する裁判員経験者（9日午後5時10分、岡山地裁）

岡山県内初の裁判員裁判の判決が9日、岡山地裁で言い渡された。判決後、裁判員6人と補充裁判員3人の全員が記者会見。4日間の緊張から解き放たれた安堵感、責任を果たした充実感を口々に語った。会見要旨の裁判員の一人は「判決には被告の更生を願う気持ちを込めている」と、全員の思いを代弁した。（1面関連）

懲役8年の求刑に対し、導いた結論は懲役6年6月。量刑を決めるため、裁判官3人を交えて意見をぶつけ合った評議は2日間で約5時間に上った。裁判員らは「大変だった」と口を揃え、精神的負担の大きさをうかがわせた。

（判断材料として）被害者の感情や被告の責任の重さはあるが、簡単に決められるものではなく、非常に難しかった。

「全員で決めた」裁判長

裁判官、裁判員合計9人の下した判決です。殺人未遂事件を審理した9日の岡山地裁の裁判員裁判。判決、裁判員たちが見守る中、高山光朗裁判長は主文を言い渡した。一点を見つめ、緊張した面持ちだった。

裁判員に選ばれる前は責任の重さに抵抗があったが、刑の一生の重みについて考えさせられた」と話した。

40代男性裁判員は「被告に罰を与えようという気持ちではない。むしろ、更生してちゃんと生きてほしい」と願った上で、（被告に）質問する際も事件についてよく考え、立ち直ってほしいと期待した」と振り返った。

30代女性裁判員は「選ばれた責任を果たそうと、真剣に審理や評議に参加した」と話した。

だけにせず判決に関与という。

4日間、裁判官席に入った田淵義隆被告（40）。それだけ多くの刀に囲まれ、緊張しでしどろもどろだったが、自分の話を聞いてもらえ、人生の扉を閉ざすことを考えて踏ん張っている」と話した。

3　刑事裁判はどのように変わったか

公判はどのように変わったか

- ○　短期間のうちに集中的に審理がされるようになった
- ○　提出される証拠が重要なものに絞られるようになった
- ○　当事者の冒頭陳述，論告弁論が分かりやすくなった
- ○　証人尋問などの仕方に工夫がされるようになった

3　刑事裁判はどのように変わったか

公判の準備はどのように変わったか

○　検察官がより積極的に証拠を開示するようになった

○　弁護側もより積極的に弁護側のストーリーを述べるようになった

○　裁判員に対するわかりやすさの視点から主張・証拠の整理と審理計画が立てられるようになった

3　刑事裁判はどのように変わったか

これが日本の刑事裁判か！！
と思えるくらい，法廷の訴訟活動が劇的に変化

3　刑事裁判はどのように変わったか

裁判員に選ばれたからには自分なりに一生懸命やります！という日本人のまじめな国民性に感動

4　これまでの実施状況

裁判員・補充員経験者数（全国　H28．6まで）

6万9692人

4　これまでの実施状況

裁判員・補充員経験者数（岡山　H28．6まで）

1069人

4　これまでの実施状況

判決人員（全国　H28．6まで）

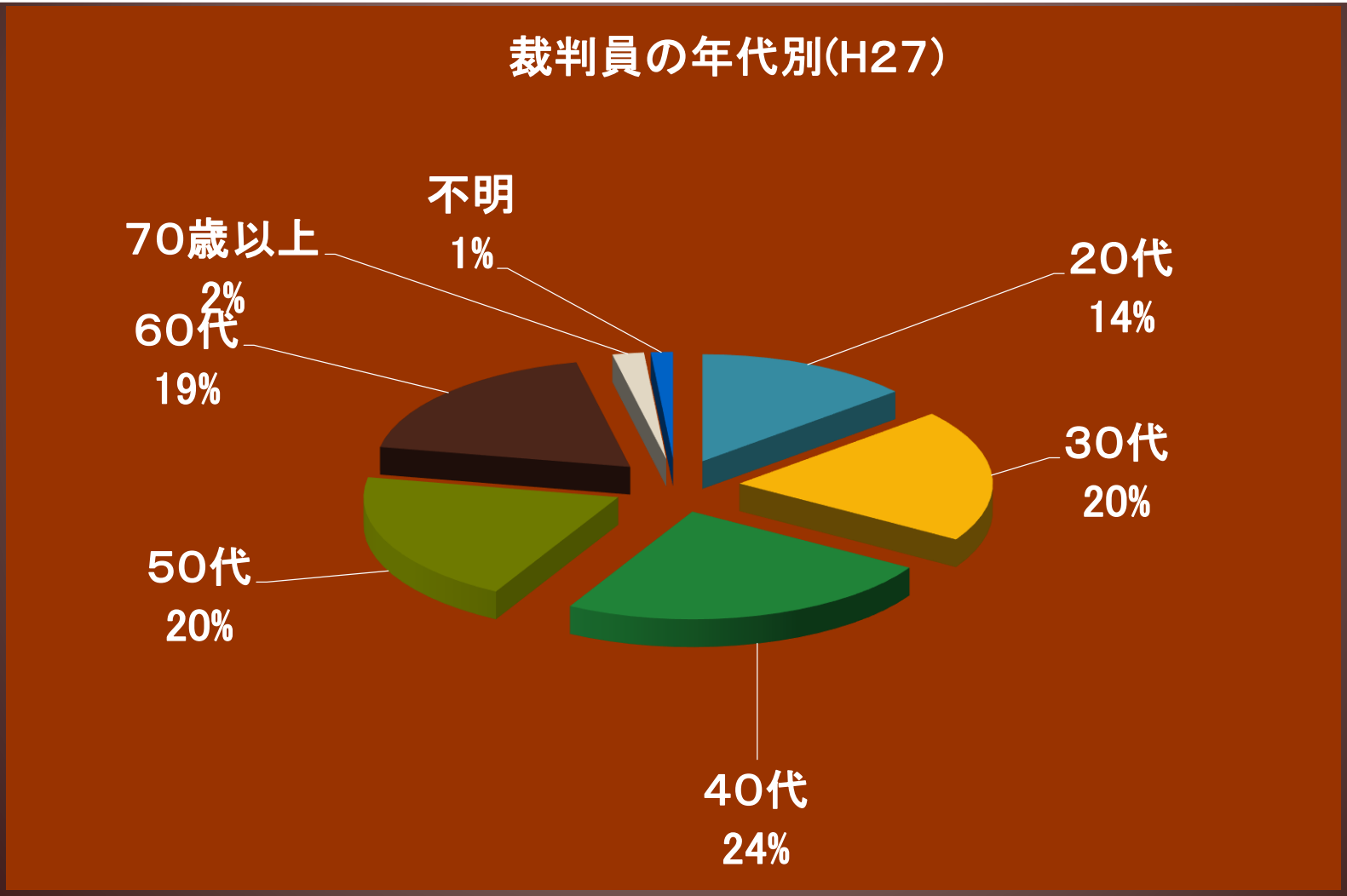
9032人の被告人

4　これまでの実施状況

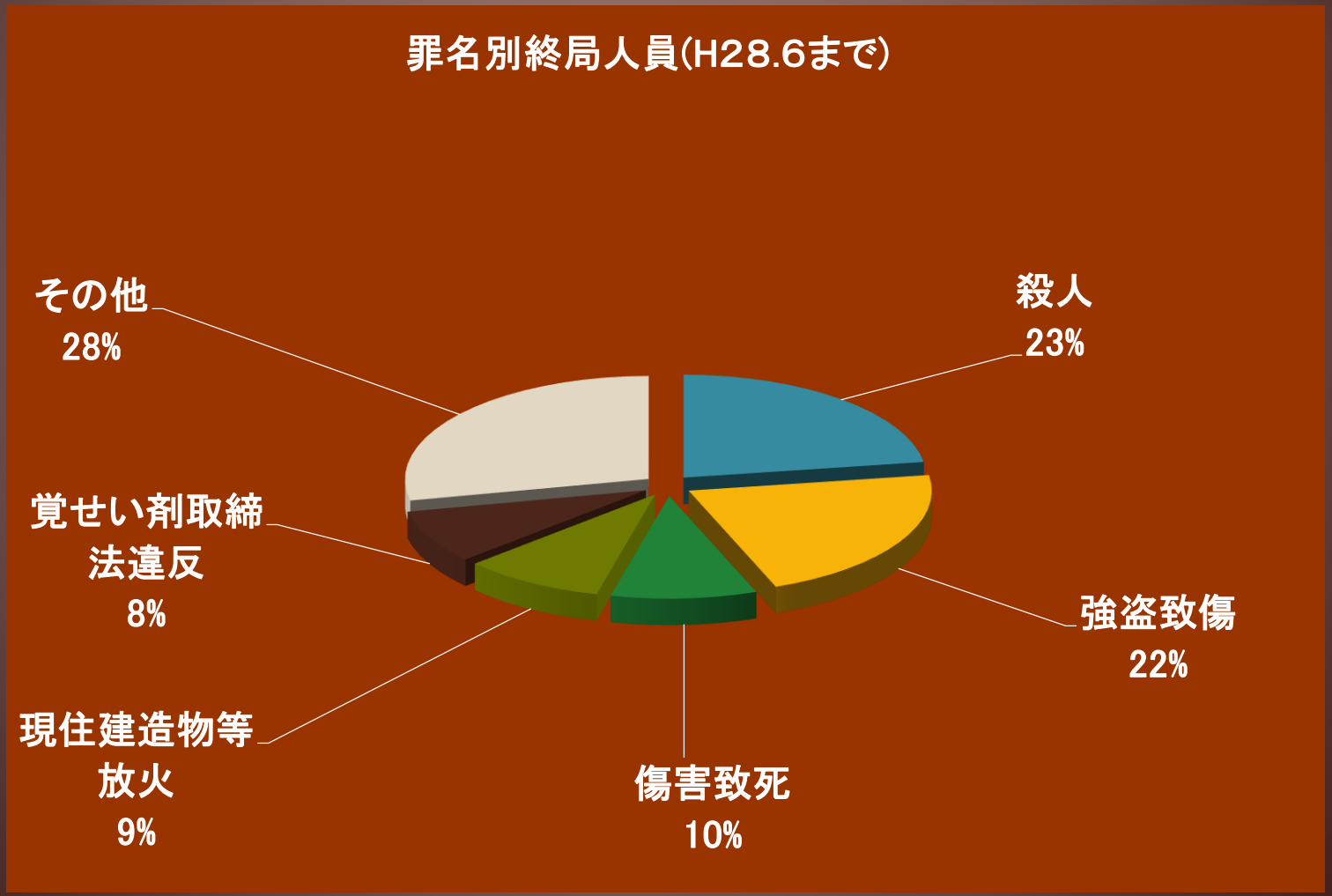
判決人員（岡山　H28．6まで）

134人の被告人

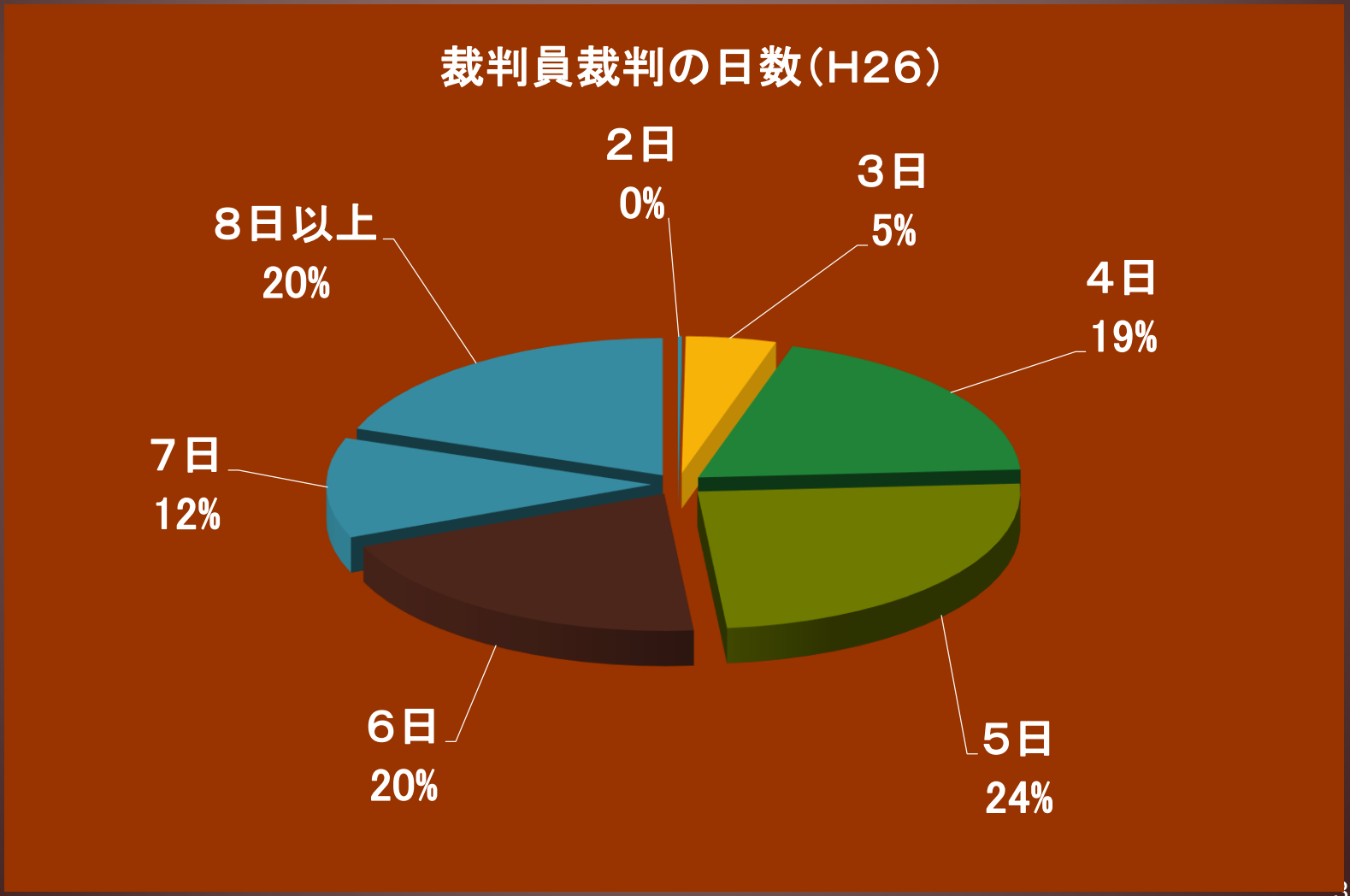
4 これまでの実施状況



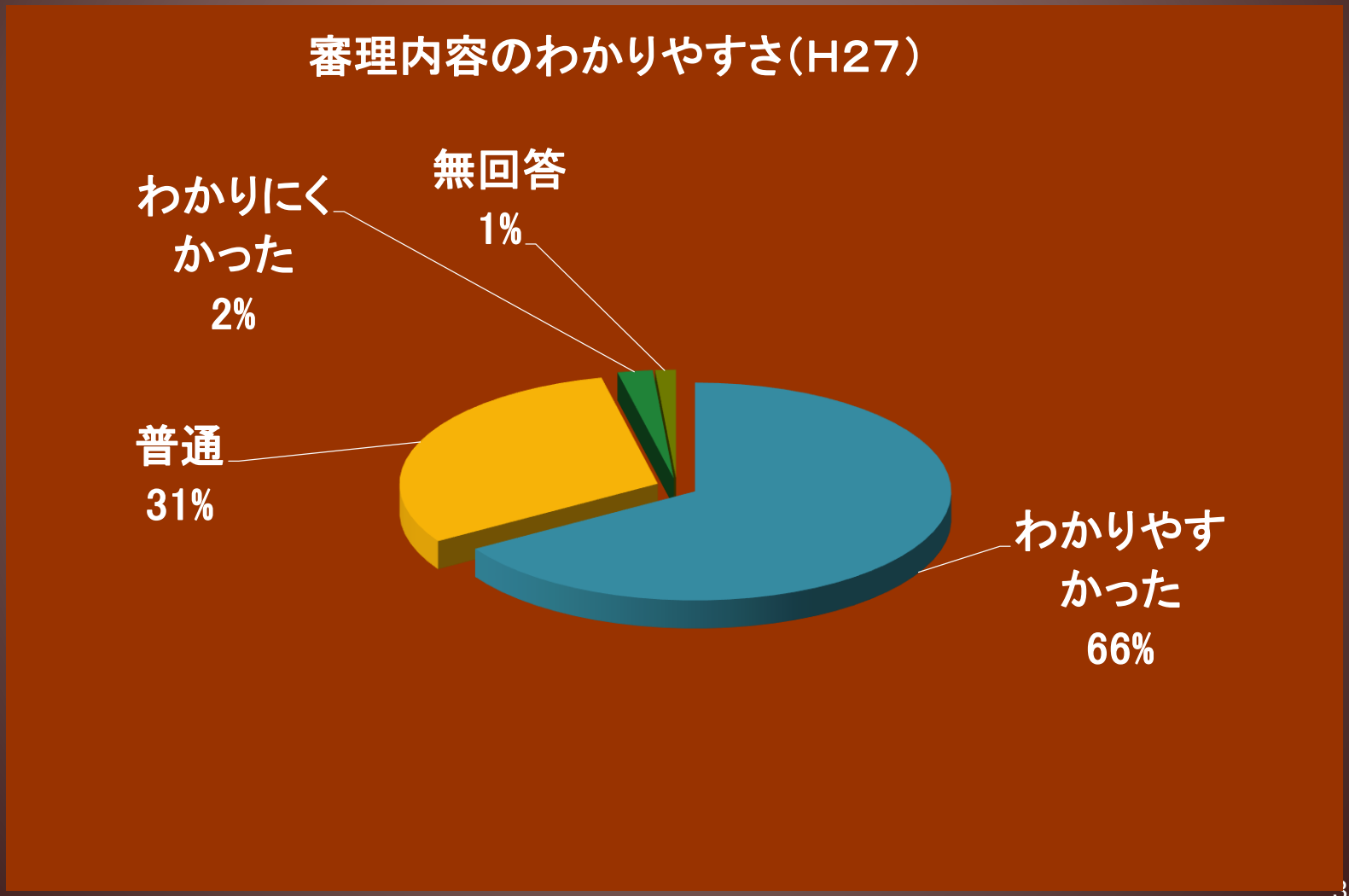
4　これまで実施状況


罪名別終局人員(H28.6まで)
その他
28%
殺人
23%
覚せい剤取締
法違反
8%
強盗致傷
22%
現住建造物等
放火
9%
傷害致死
10%

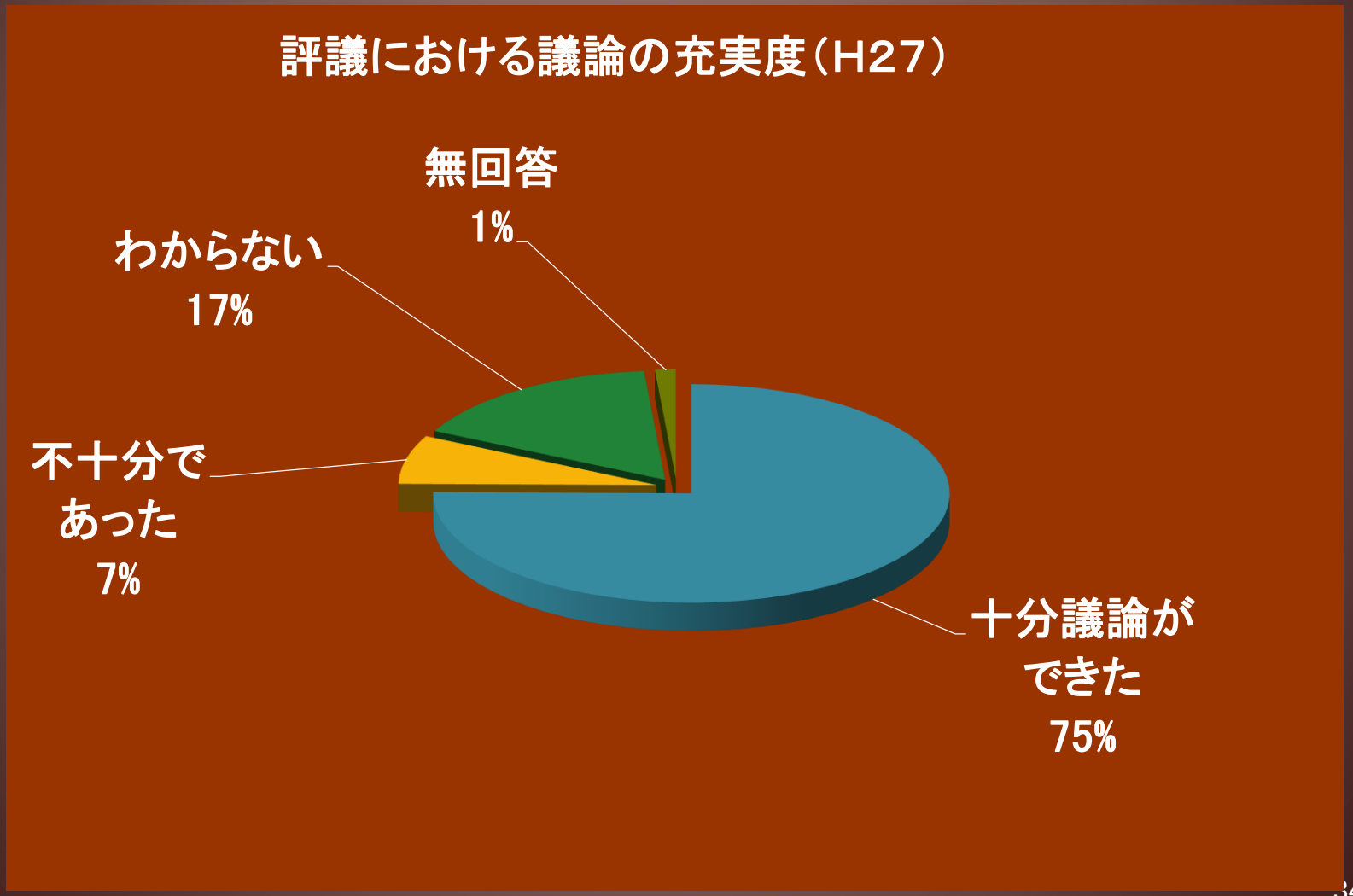
4　これまでの実施状況



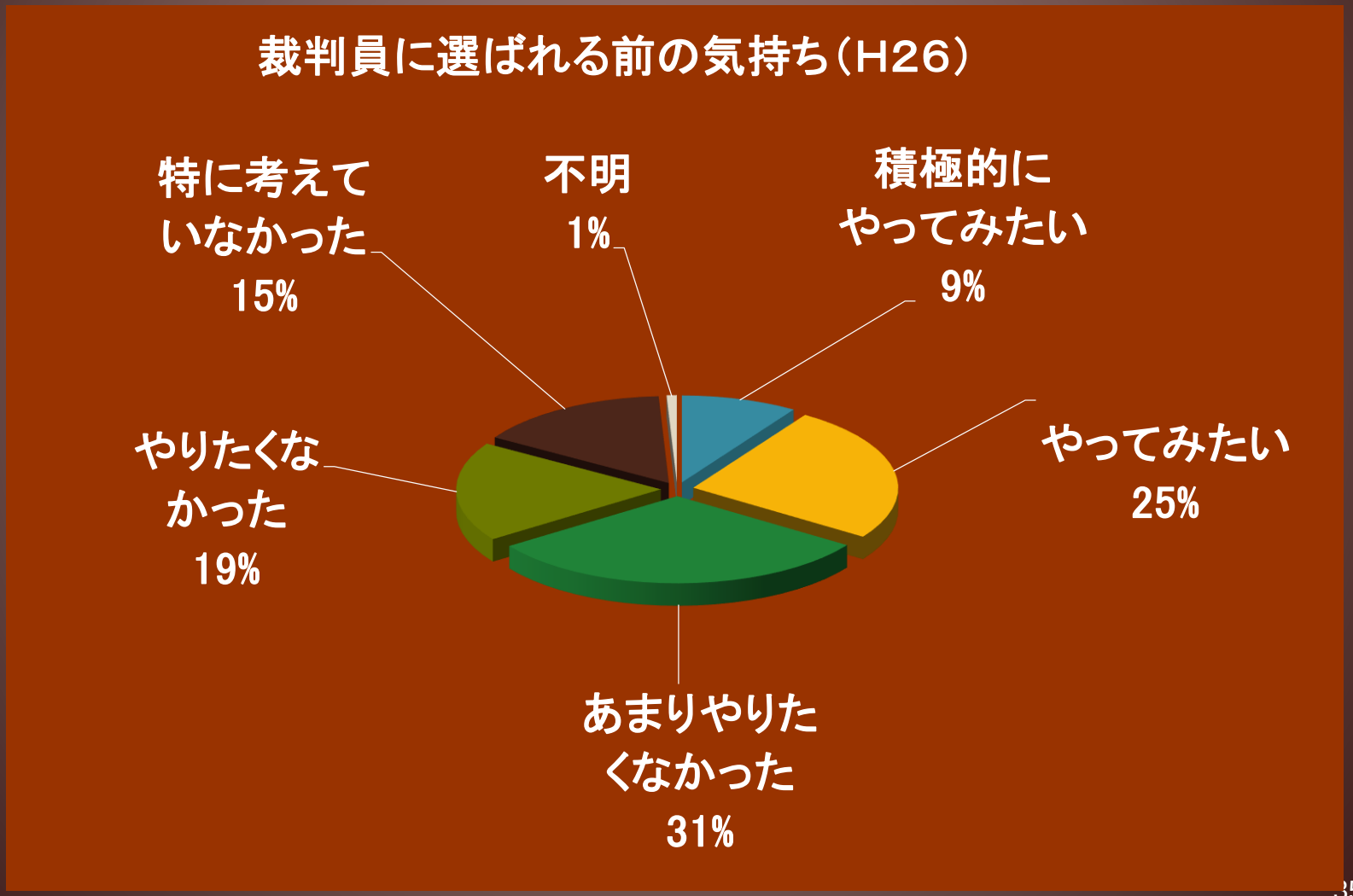
4 これまでの実施状況



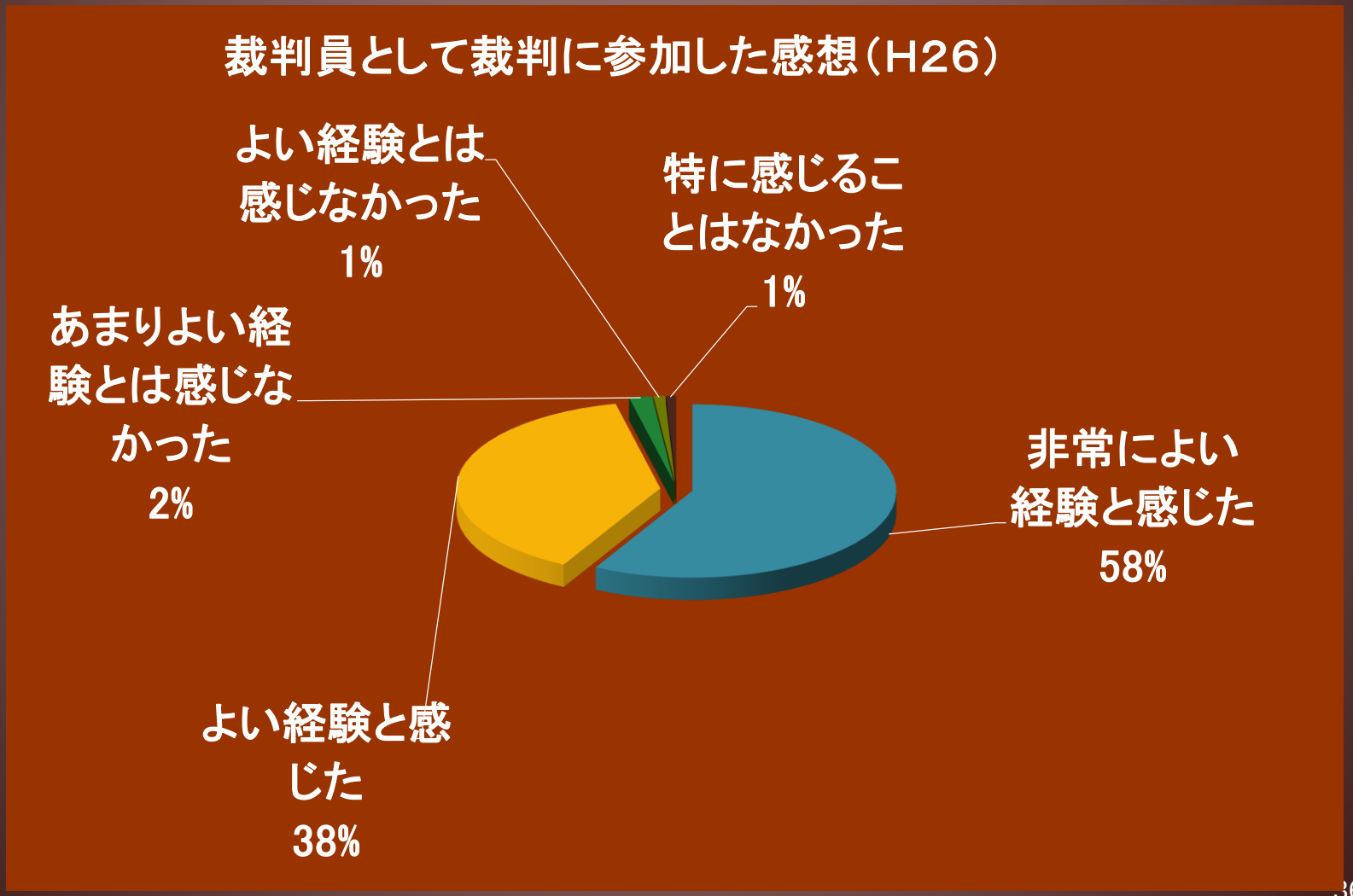
4 これまでの実施状況



4 これまでの実施状況

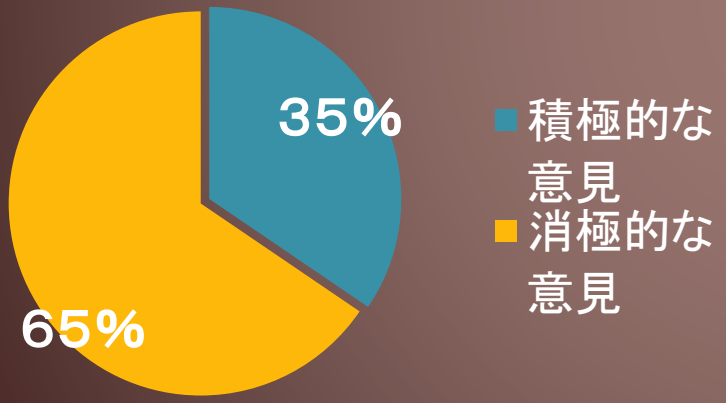

裁判員に選ばれる前の気持ち（H26）
特に考えていなかった 15%
不明 1%
積極的にやってみたい 9%
やりたくなかった 19%
やってみたい 25%
あまりやりたくなかった 31%

4 これまでの実施状況

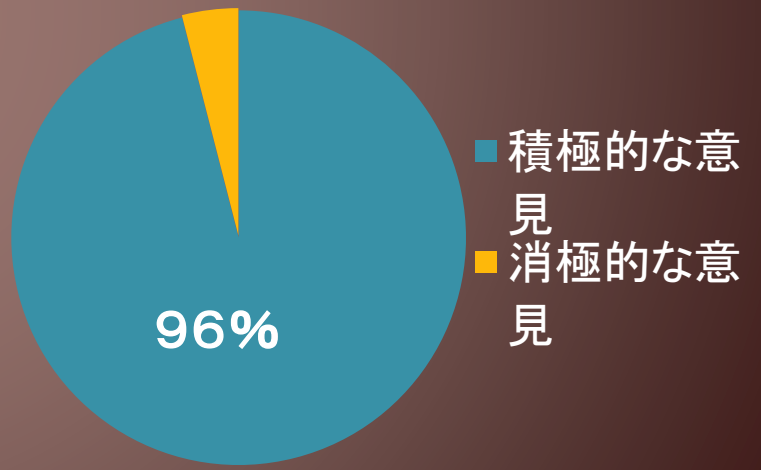

裁判員として裁判に参加した感想（H26）
よい経験とは感じなかった 1%
特に感じることはなかった 1%
あまりよい経験とは感じなかった 2%
非常によい経験と感じた 58%
よい経験と感じた 38%

4 これまでの実施状況（両グラフの対照）

選ばれる前



選ばれた後



ご清聴，ありがとうございました

岡山地方裁判所：鬼澤友直